

毎週 水曜発行
(8月から週 1 回発行となりました)

復興ニュース

51号
2011年
11月16日

発行：気仙市民復興連絡会
大船渡市末崎町字石浜 34-1
<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>
Twitter @KesenShiminFR
<https://www.facebook.com/kesenfukko>

第3回 無料法律相談 ご案内

11月26日(土) 午後2時~4時、
11月27日(日) 午前10時~12時
場所：三鉄盛駅ふれあい待合室(両日とも)

NPO 法人ヒューマンライツ・ナウによる無料法律相談会があります。同法人による無料法律相談会は今回で3回目です。第1回目の無料法律相談は10月15日(弁護士2名、12名の相談者)、第2回目は11月5日・6日(弁護士1名、9名の相談者)いずれも三鉄盛駅ふれあい待合室で行いました。

第3回目の今回は11月26日(土)と27日(日)の両日、2名の弁護士が相談に応じます。相談内容が外部へ漏れることのないよう、相談場所は三鉄盛駅ふれあい待合室(奥の和室)と隣りカメリアホール(和室)を利用して行います。相談者には事前に申込をお願いします。

申込先 Tel 47-3542 (三鉄盛駅ふれあい待合室)

「3鉄まつり」

日時：11月19日(土)
10:00~15:00

場所：JR 盛駅・三鉄盛駅・開発検修庫



3鉄とは、東日本旅客鉄道(JR)・三陸鉄道・岩手開発鉄道の3社の主催による「まつり」です。すでに開発鉄道は運行を開始しましたが、JRと三鉄は運休であり、皆で全線早期復旧への思いを盛り上げる「3鉄まつり」としたいと存じますので、皆様のお出でをご案内いたします。

内容：①餅まき、②三鉄バザー、③支援図書配布、④模擬出店(三鉄・開発鉄道・三鉄友の会・ちっちゃなグレープ屋さん・おさかなセンター)、⑤記念写真(三鉄君・子ども用制服・制帽)、⑥軌道自転車乗車体験、⑦大声大会(男性・女性・子どもの3部門)、⑧開発鉄道検修庫公開、

⑨風船あそび、⑩七五三着付と写真撮影、⑪綿アメ、⑫救援物資配布等々楽しい企画です。

協力：NPO 法人夢ネット・三鉄友の会、ちっちゃなグレープ屋さん・おさかなセンター

『たがだのわらしBa』

～地域子育て創生事業実行委員会主催～

11月3日高田市小友町箱根山の市民の森・伝承館にて「たがだのわらしBa」が開催され多くの親子で賑わいました。各ブースに分かれた会場では、表札作りの大工体験コーナーやこれからの時季にピッタリのクリスマスリース作り・ケーキ作り体験、小さな子供達には大きな滑り台など目じろ押し(^o^)

もちろん大人向けにも化粧品や日用品の詰め合わせや冬物衣料・手編みのブランケットなどが支援されました。

炊き出しで東京から美味しいカレー屋さんが来てカレーの良い香りが辺りを漂い食をそそっていました。(^ u ^)



大阪の元気人間製造研究所の皆さん 多方面のボランティア ～特集～

おはよう、
あいがしん

大阪の元気人間製造研究所：森重子所長以下 21 名のオバチャン方が、大船渡市に来てそれぞれの技を生かしたボランティア活動を行いました。持参した七五三着物、布地、リカちゃん人形、千歳飴、豚まん、ミシン、線香、子ども服、あき子の砂、バウムクーヘン、メダカ等々をそれぞれ届けました。大阪から貸切バスを利用し 11 月 4 日・5 の両日と居残り組み 3 人は 6 日も行って帰りました。4 日には大船渡商工会議所女性部との交流も行いました。さらに 5 日夕方帰る直前 JR 盛駅待合室をお借りして交流したところ、「16 時間もバスに乗って来て、疲れて何が出来るか不安であったが、元気にボランティアが出来た。反対に私が元気をもらいました。本当に来てよかった」等々の報告がありました。訪問先（仮設等）の皆さん大変お世話になりました。

永沢仮設で結婚式や居酒屋

永沢仮設では、4 組が結婚式イブニングドレスとタキシードを着て、居酒屋パーティーに集まった入居者から大きな拍手を受け祝福されました。希望するお子さんにも七五三の着物を着て写真に納まりました。

同仮設では、6 日午前森所長の「ますます元気」講演会も開かれ、楽しい交流が出来ました。



上平仮設の小物づくりと編物

上平仮設の談話室に 13 人集まって、リーバーシブルベストを着物地で作りました。糸は指編みを学びました。「ボケ防止にいいね」と笑いながら楽しく行いました。



杉下仮設 縫製師



三陸町の杉下仮設には、ミシンと布地を贈り、デザイナー兼縫製師の方から指導を受けて、スラックスづくりを行いました。



山馬越仮設（北小）七五三着付

山馬越仮設のボランティアは、リカちゃん人形の洋服づくり、おやつづくり、七五三の着付け、絵本づくり等であった。チビッコデザイナーの横田未来ちゃん（11 才）は、お友達をつくりたいとの願いだったが…。





沢川仮設（盛小）七五三着付

大阪のオバチャン方は、被災されたお子さん方の笑顔を見たいと、七五三の着物を持参し（着付師も来て）、千歳飴を持って記念写真に納まりました。これからは三鉄盛駅ふれあい待合室に着物を置いて、希望者に来て頂き、写真を撮って思い出をつくって頂きたいと送り返して来ました。

轆轤石仮設（猪小）

地の森仮設と片地家仮設



美容師さん、午前地の森仮設、午後片地家仮設を廻りました。



轆轤石仮設では、参加して頂いた子どもさんも楽しく、絵本づくりなど一緒に大阪のオバチャンとひと時を過ごしました。



JR待合室 小物編物指導

JR 盛駅待合室で行われた小物づくりと編物指導には、19人の申込者があり大変賑わい合いました。そんなことから騒がしくJR 盛駅へご迷惑をおかけ致し、大変申し訳ありませんでした。

知り合いでない方々の参加であり、交流にもなりました。さらに今後も継続したいとの申し入れがありました。



「ますます元気」講演会

元気人間製造研究所：森所長が熱弁



永沢仮設
元気体操



カメラアでの講演会



滝の里仮設

大阪のオバチャンこと「元気人間製造研究所」の所長：森重子さんの講演会をカメラアホール・末崎ふるさとセンター・永沢仮設・滝の里仮設の4ヶ所で行いました。研究所の綱領に「元気は人の力の源であり、元気をたっぷり蓄え、何事にも積極的にとりくむ力強い人となるべし」とあります。森さんの講演と元気体操に参加者みなさん！元気が出ましたか？森所長も、皆さんから元気を頂き、また来たいと言って7日朝、大阪へ出発（夢ネット会員が送り）しました。



滝の里仮設での美容師さん
16人を整髪しました

「お茶会」甫嶺・崎浜仮設

お茶会は、甫嶺仮設と崎浜仮設で行いました。大阪の下林さん（74才）の話法に皆さん引き込まれ、色々なお話が出来ました。終わって大阪が本場の「豚まん」をお土産に頂きました。



石彫家の地蔵様

石彫家の中西さんは、同業者の吉助石材店（佐藤勝弘店主）へ寄って、地震や津波被害の話を聞きました。

持参した「地蔵様」（中西さんが手掘り）は、末崎ふるさとセンターでの森所長の講演を聞きに来た方々が、地蔵様を「元気地蔵」と命名し預かって頂くことになりました。

三鉄盛駅に 救援物資 冬用もあります



三鉄盛駅ふれあい待合室には、全国から支援頂いています救援物資を並べ、被災者の皆様へ自由に持参して頂いています。これから寒くなる季節、沢山はありませんが、冬用の衣類もありますのでぜひお出下さい。

また、お茶（無料）も準備していますので、被災後各地に分散し住むようになった皆様、ふれあい待合室でお会いして交流しましょう。なお、毎週水曜日午前中は特別の「お茶会」を開いています。お誘い合ってお出下さい。

みんなで奏でた 音楽会♪

10月29日陸前高田市矢作町の気仙中学校（旧矢作中学校）で音楽イベントが開催されました。この日は近隣の地区民の方々や愛宕下仮設団地にお住まいの方々など20名程が集まり、演奏家生田真也さんの打楽器の演奏体験やカラオケなどを楽しみました。

更に、豚汁の炊き出しやお菓子、お茶のご馳走の他昔懐かしのドン菓子の実演もありで、みんなで音楽を楽しみ心もお腹も満腹になったようです。



「干し柿作り」～横田町志田実仮設～

陸前高田市横田地区の志田実仮設団地で30名程のお母さん方が団地の集会所に集まり干し柿作りをしていました。お母さん方は器用に剥き終えた柿の実を糸に結び付けて竿へと沢山つるしていました。

今気仙ではどこでも柿スタレが目につくようになりました。

